

第2回 富山市文化財保存活用地域計画策定協議会

と き 令和6年3月15日(金)
午後2時から

ところ Toyama Sakura ビル8階
教育委員会室

次 第

1 開 会

2 議長挨拶

3 報告事項

(1) 第1回協議会会議録について【別添1】

4 協議事項

(1) 指定文化財等の現状について

① 指定文化財件数等一覧について【資料1】

② 文化財所有者アンケート結果について【資料2】

③ 文化財保護事業について【資料3】

(2) 富山市文化財保存活用地域計画の内容について

① 骨子案について【資料4】

② 文化財リスト等について【資料5-1・2】

③ 富山市の文化財・歴史文化の特徴について【資料6-1・2】

(3) 令和6年度スケジュールについて【資料7-1・2】

5 閉 会

富山市文化財保存活用地域計画策定協議会委員(50音順)

	区分	氏名	所属・役職等	専門分野
	商工団体	今川 清司	富山商工会議所産業振興部長	商工
議長	学識経験者	上野 幸夫	職藝学院学院長 市文化財調査審議会会長	伝統的建造物
	その他	菊川 祐介	富山市自治振興連絡協議会副会長	地域振興
	文化財所有者	齊藤 和雄	熊野神社稚児舞保存会会長	民俗芸能継承団体
	学識経験者	島添 貴美子	富山大学教授 市文化財調査審議会委員 富山県文化財保護審議会委員	無形民俗
	学識経験者	鈴木 景二	富山大学教授 市文化財調査審議会委員(会長職務代理) 富山県文化財保護審議会委員	歴史
	観光団体	関野 孝俊	富山市観光協会事務局長	観光
	行政(県)	辻 ゆかり	富山県教育委員会 生涯学習・文化財室長	文化財行政
	その他	中村 茂信	富山市公民館連絡協議会会長	地域振興
	学識経験者	藪谷 祐介	富山大学講師 市景観まちづくりアドバイザー	建築・まちづくり
	事務局		教育委員会事務局 生涯学習課	

第2回富山市文化財保存活用地域計画策定協議会

資 料

日 時 : 令和6年3月15日(金) 午後2時から
場 所 : Toyama Sakura ビル8階 教育委員会室

目 次

【資料1】 富山市内指定・登録文化財件数一覧	1 ページ
【資料2】 文化財所有者アンケート結果報告	5 ページ
【資料3】 文化財保護事業について	20 ページ
【資料4】 富山市文化財保存活用地域計画骨子案	23 ページ
【資料5-1】 類型ごとの把握調査の一覧	25 ページ
【資料5-2】 現時点の文化財リスト	26 ページ
【資料6-1】 富山の文化財・歴史文化の特徴について	27 ページ
【資料6-2】 「暴れ川」常願寺川とともに～治水・活用の歴史～	28 ページ
【資料7-1】 富山市文化財保存活用地域計画策定事業スケジュール	29 ページ
【資料7-2】 ワークショップ企画案	30 ページ

富山市内指定・登録文化財件数一覧

種類		国指定	県指定	市指定	国登録	県登録	計	
有形文化財	建造物	4		6	37		47	
	絵画	2	6	17			25	
	彫刻	2	13	28			43	
	工芸品	6	10	23			39	
	書籍・典籍・古文書	1	2	24			27	
	考古資料	2	4	1	1		8	
	歴史資料			1			1	
民俗文化財	有形	1	1	2			4	
	無形	1		5		1	7	
記念物	史跡	4	3	17			24	
	天然記念物	植物		9	23			32
		地質鉱物	5	1	2			8
合計		28	49	149	38	1	265	

※上記のほかホタルイカ群遊海面(常願寺川河口右岸より旧魚津町に至る海岸朔望満潮線より700間以内の海面)、ライチョウ(地域定めず)、カモシカ(地域定めず)が国の特別天然記念物となっている。

●旧市町村別

	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	計
国指定	15	1	4	1	5	0	2	28
県指定	23	4	11	6	3	1	1	49
市指定	24	8	14	57	9	15	22	149
国登録	34	1	3	0	0	0	0	38
県登録	0	0	0	0	0	0	1	1
計	96	14	32	64	17	16	26	265

●建造物

	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	計
国指定	3	0	1	0	0	0	0	4
県指定	0	0	0	0	0	0	0	0
市指定	2	1	1	0	0	2	0	6
国登録	33	1	3	0	0	0	0	37
計	38	2	5	0	0	2	0	47

例：(重文) 浮田家住宅、(重文) 富岩運河水閘施設(中島閘門)、(国登録) 富山市郷土博物館(富山城)、(国登録) 笹津橋、(国登録) 富山県庁舎本館、(市指定) 千歳御門(埋門) など

●絵画

	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	計
国指定	1	0	0	1	0	0	0	2
県指定	2	1	3	0	0	0	0	6
市指定	8	0	0	4	1	1	3	17
国登録	0	0	0	0	0	0	0	0
計	11	1	3	5	1	1	3	25

例：(重文) 絹本着色法華經曼荼羅図、(県指定) 絹本着色仏涅槃図、(市指定) 千歳御殿図の屏風など

●彫刻

	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	計
国指定	0	0	0	0	2	0	0	2
県指定	6	1	4	1	1	0	0	13
市指定	2	0	3	9	4	2	8	28
国登録	0	0	0	0	0	0	0	0
計	8	1	7	10	7	2	8	43

例：(重文) 木造十一面観音立像、(県指定) 木造獅子頭、(市指定) 白山妙理大権現(円空) など

●工芸品

	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	計
国指定	6	0	0	0	0	0	0	6
県指定	7	0	1	1	1	0	0	10
市指定	3	0	2	15	1	0	2	23
国登録	0	0	0	0	0	0	0	0
計	16	0	3	16	2	0	2	39

例：(重文) 太刀銘一助成、(県指定) 木造彫刻棟札、(市指定) 越中丸山焼色絵牡丹文八角隅入鉢など

●書籍・典籍・古文書・歴史資料

	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	計
国指定	1	0	0	0	0	0	0	1
県指定	1	0	0	1	0	0	0	2
市指定	2	1	0	15	2	0	5	25
国登録	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	1	0	16	2	0	5	28

例：(重文) 仏祖正伝菩薩戒教授文、(県指定) 玉永寺文書、(市指定) 吉見詮頼地頭職寄進状など

●考古資料

	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	計
国指定	2	0	0	0	0	0	0	2
県指定	3	1	0	0	0	0	0	4
市指定	1	0	0	0	0	0	0	1
国登録	1	0	0	0	0	0	0	1
計	7	1	0	0	0	0	0	8

例：(県指定) 直坂Ⅰ遺跡出土品（富山市舟新・舟倉）、(市指定) 遮光器土偶など

●有形民俗文化財

	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	計
国指定	1	0	0	0	0	0	0	1
県指定	0	0	0	1	0	0	0	1
市指定	0	1	1	0	0	0	0	2
国登録	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	1	1	0	0	0	4

例：(重要有形) 富山の売薬用具、(県指定) 八尾町曳山祭礼、(市指定) 有峰狛犬など

●無形民俗文化財

	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	計
国指定	0	0	0	0	1	0	0	1
県指定	0	0	0	0	0	0	0	0
市指定	2	2	0	1	0	0	0	5
国登録	0	0	0	0	0	0	0	0
県登録	0	0	0	0	0	0	1	1
計	2	2	0	1	1	0	1	7

例：(重要無形) 越中の稚児舞、(市指定) 布尻・町長お鞆さま祭り、(市指定) 岩瀬まだらなど

●史跡

	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	計
国指定	1	1	0	0	2	0	0	4
県指定	1	0	1	0	0	0	1	3
市指定	2	0	4	5	1	1	4	17
国登録	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	1	5	5	3	1	5	24

例：(国指定) 安田城跡、(県指定) 猪谷関跡、(市指定) 五百羅漢、(市指定) 主馬ヶ城跡など

●天然記念物(植物)

	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	計
国指定	0	0	0	0	0	0	0	0
県指定	3	1	2	2	0	1	0	9
市指定	2	3	3	6	0	9	0	23
国登録	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	4	5	8	0	10	0	32

例：(県指定) 浜黒崎の松並木、(市指定) 小井波の水芭蕉、(市指定) 中老田のモチノキなど

●天然記念物(地質鉱物)

	富山	大沢野	大山	八尾	婦中	山田	細入	計
国指定	0	0	3	0	0	0	2	5
県指定	0	0	0	0	1	0	0	1
市指定	0	0	0	2	0	0	0	2
国登録	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	3	2	1	0	2	8

例：(国指定・特天) 薬師岳の圈谷群、(国指定) 猪谷の背斜・向斜、(県指定) 友坂の二重不整合、(市指定) 天狗平の化石層など

文化財所有者アンケート結果報告

(1) 調査実施概要

市内の指定・登録文化財所有者（管理責任者）に対し、所有文化財の現状について調査を実施しました。

調査対象 : 市内の指定・登録文化財所有者（管理責任者）

文化財数 : 243 件

※同一敷地内で棟ごとに指定・登録文化財となっているものについては、まとめて 1 件としてカウントしているため、「富山市内指定・登録文化財件数一覧」の数と異なっています。

調査方法 : 郵送によるアンケート調査票の配布・回収（紙面または WEB 回答）【別添3】

調査期間 : 令和 6 年 1 月 23 日（火）～ 2 月 20 日（火）

質問内容 : ○ 所有されている文化財、所有者様について
○ 文化財を所有していること意識について
○ 所有している文化財の課題について
○ 日常の維持管理について
○ 所有している文化財の保存・活用について
○ 所有している文化財の防犯・防災について

有効回収 : 90 件 [文化財数 133 件 (うち 1 件無回答)]

種類	件数	回答
建造物	24	14
絵画	25	12
彫刻	43	26
工芸品	39	17
書跡・典籍・古文書・書跡工芸	27	14
考古資料	8	1
歴史資料	1	0
有形民俗文化財	4	3
無形民俗文化財	7	6
史跡	24	16
天然記念物・特別天然記念物	41	23
計	243	132

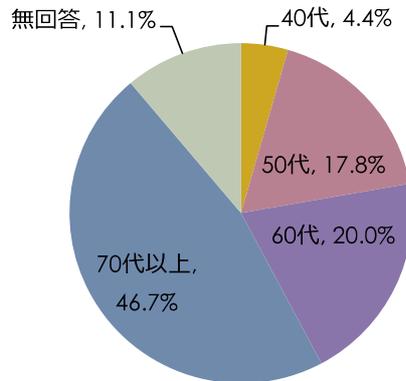
※自由記述回答については、主なご意見を掲載しており、同一の内容のものは一つにまとめる、個人が特定されないようにするなど、一部編集を行いました。

(2) 調査結果

○ 所有されている文化財、所有者様について
1-4 所有者(日常主に管理されている方)の年代

年代	回答数	割合
20代	0	0.0%
30代	0	0.0%
40代	4	4.4%
50代	16	17.8%
60代	18	20.0%
70代以上	42	46.7%
無回答	10	11.1%

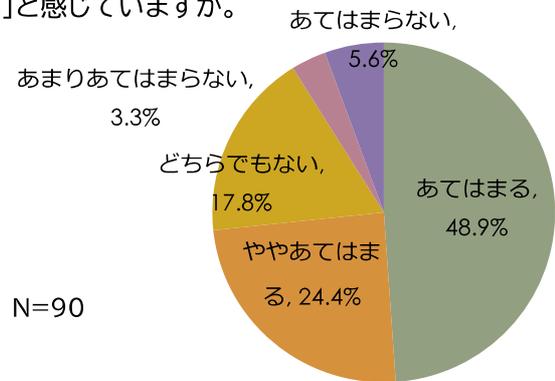
N=90



○ 文化財を所有していること意識について

2-1 文化財を所有していることについて、「誇らしい」と感じていますか。
(あてはまるもの1つに○)

項目	回答数	割合
あてはまる	44	48.9%
ややあてはまる	22	24.4%
どちらでもない	16	17.8%
あまりあてはまらない	3	3.3%
あてはまらない	5	5.6%
無回答	0	0.0%

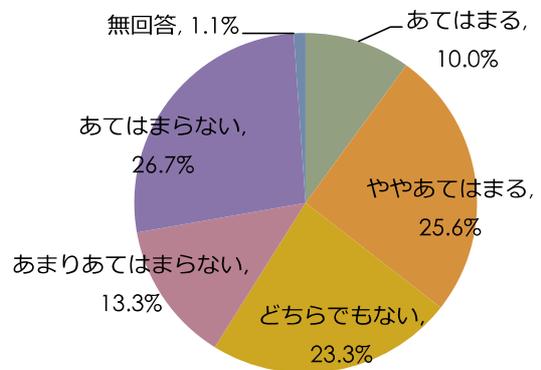


N=90

2-2 文化財を所有していることについて、「負担である」と感じていますか。
(あてはまるもの1つに○)

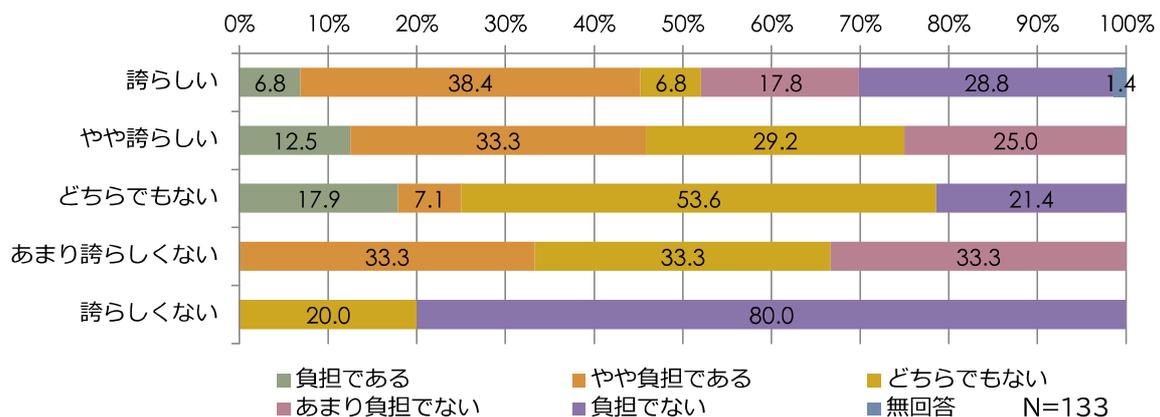
項目	回答数	割合
あてはまる	9	10.0%
ややあてはまる	23	25.6%
どちらでもない	21	23.3%
あまりあてはまらない	12	13.3%
あてはまらない	24	26.7%
無回答	1	1.1%

N=90



○ 属性別の分析

〈文化財を所有していることを「誇らしい」と感じている方と「負担である」と感じている方〉



N=133

- ✓ 「誇らしい」と感じているが、「負担である」と回答した方がいる一方、「誇らしくない」と感じているが、「負担である」と回答した方はいませんでした。

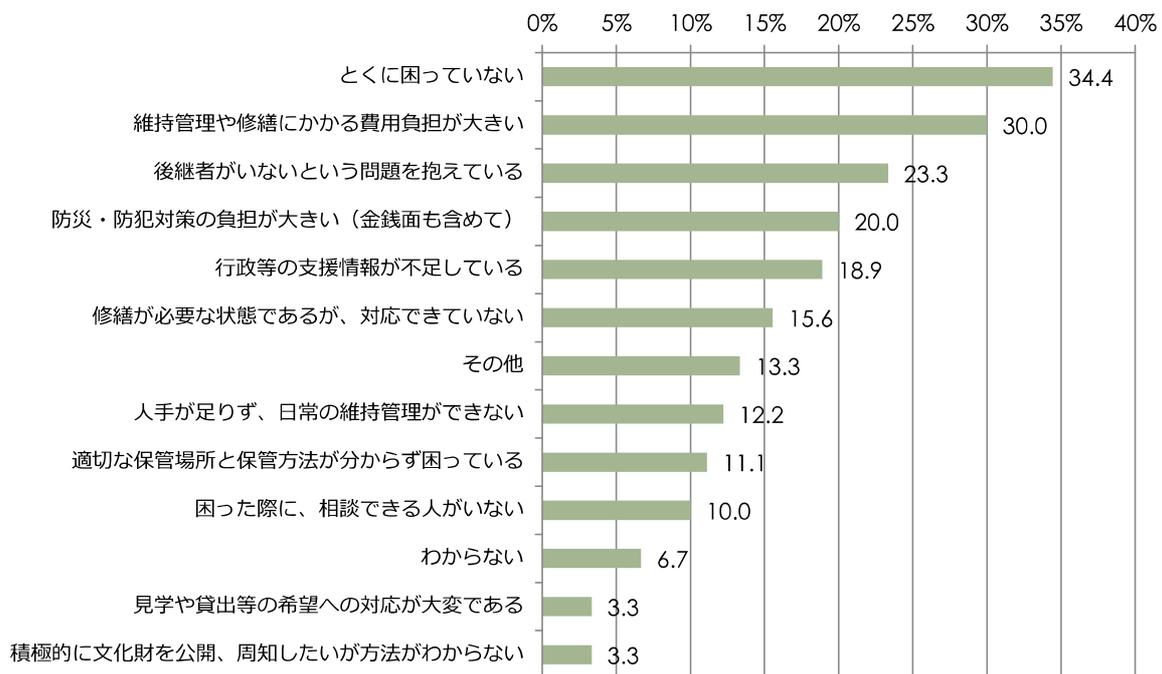
○ 所有している文化財の課題について

3-1 所有する文化財の保存や活用など全般に関する課題について、お答えください。

(あてはまるもの全てに○)

項目	回答数	割合
人手が足りず、日常の維持管理ができない	11	12.2%
維持管理や修繕にかかる費用負担が大きい	27	30.0%
修繕が必要な状態であるが、対応できていない	14	15.6%
後継者がいないという問題を抱えている	21	23.3%
困った際に、相談できる人がいない	9	10.0%
防災・防犯対策の負担が大きい(金銭面も含めて)	18	20.0%
適切な保管場所と保管方法が分からず困っている	10	11.1%
見学や貸出等の希望への対応が大変である	3	3.3%
積極的に文化財を公開、周知したいが方法がわからない	3	3.3%
行政等の支援情報が不足している	17	18.9%
とくに困っていない	31	34.4%
わからない	6	6.7%
その他	12	13.3%

N=90



【その他】

管理面の課題

- ・ 毎年の消防署の査察が負担。
- ・ 今後、修復等が必要か調査をする予定である。
- ・ 自然に委ねている状況にある。
- ・ 大雪の時、屋根の除雪と防犯が心配。
- ・ 周辺の樹木が大きく育ち、見晴らしが悪く、訪ねる人もほとんどいない。眺めがよくなれば訪れる人も増えると思う。

土地の課題

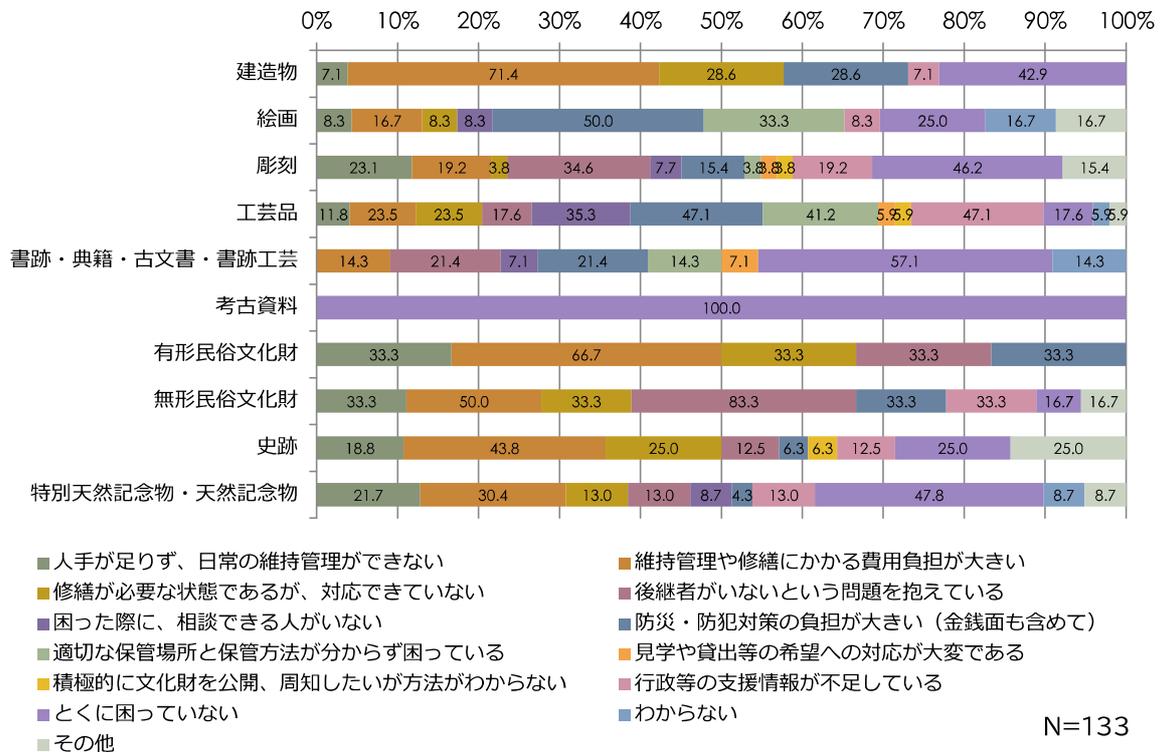
- ・ 土地の所有者は別の方のため、主体的な整備が難しい。
- ・ 土地の所有関係が不明確である。
- ・ 未買収地があり、一体的な整備活用ができない。

後継者の課題

- ・ 相続したい家族や人がいない。 等

○属性別の分析

〈文化財種類別の所有する文化財の保存や活用など全般に関する課題〉



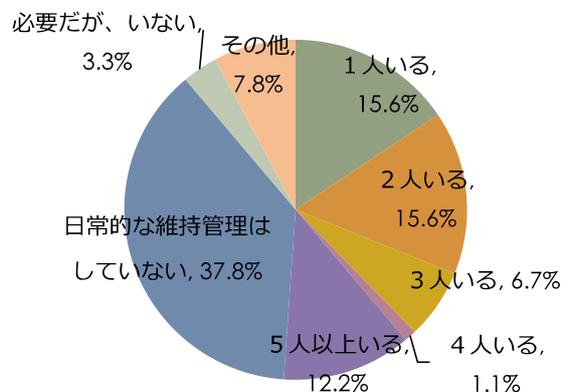
- ✓ 「維持管理や修繕にかかる費用負担が大きい」と回答した方は、「建造物」、「有形民俗文化財」、「史跡」が多い。
- ✓ 「後継者がいないという問題を抱えている」と回答した方は、「無形民俗文化財」が多い。
- ✓ 「防災・防犯対策の負担が大きい」と回答した方は、「絵画」、「工芸品」が多い。
- ✓ 「とくに困っていない」と回答した方は、「考古資料」、「書跡・典籍・古文書・書跡工芸」、「彫刻」、「特別天然記念物・天然記念物」が多い。

○ 日常の維持管理について

4-1 日頃の維持管理に携わっている人数を教えてください。

(あてはまるもの1つに○)

項目	回答数	割合
①1人いる	14	15.6%
②2人いる	14	15.6%
③3人いる	6	6.7%
④4人いる	1	1.1%
⑤5人以上いる	11	12.2%
⑥日常的な維持管理はしていない	34	37.8%
⑦必要だが、いない	3	3.3%
⑧その他	7	7.8%
無回答	0	0.0%

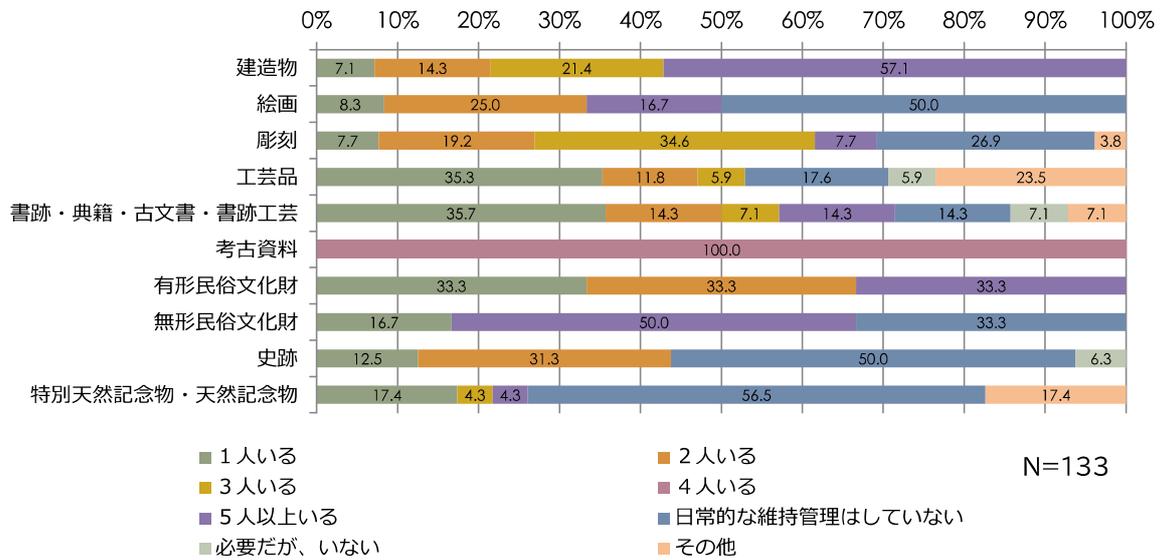


N=90

【その他】・家族で管理 等

○属性別の分析

〈文化財種類別の日頃の維持管理に携わっている人数〉

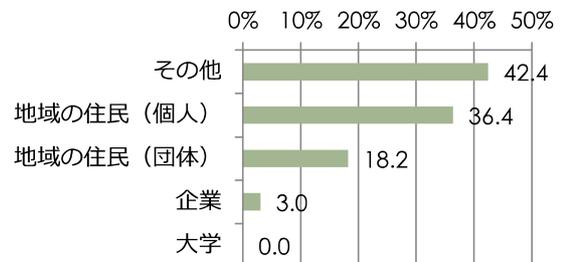


- ✓ 「日常的な維持管理はしていない」と回答した方は、「特別天然記念物・天然記念物」、「史跡」、「絵画」が多い。
- ✓ 「必要だが、いない」と回答した方は、「工芸品」、「書跡・典籍・古文書・書跡工芸」、「史跡」が占めている。

【4-1で①～⑤いると回答された方】

4-2 日常の維持管理を行う上で、関係者以外の方からの協力を受けている先があれば、教えてください。(あてはまるもの全てに○)

項目	回答数	割合
地域の住民(個人)	12	26.1%
地域の住民(団体)	6	13.0%
大学	0	0.0%
企業	1	2.2%
その他	14	30.4%



N=90

【その他】

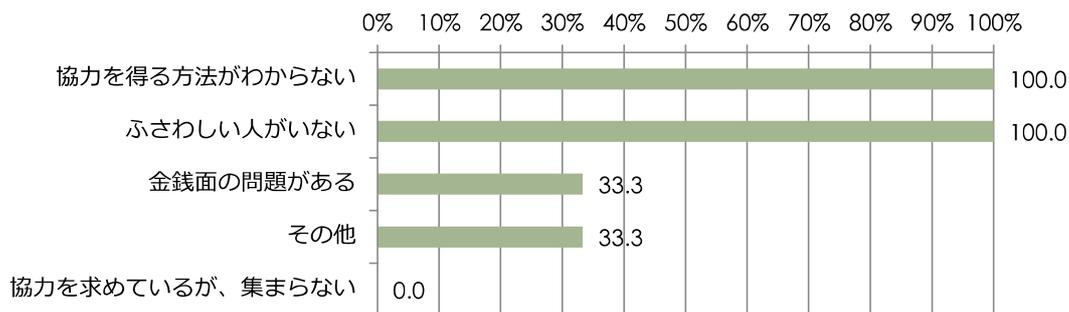
- ・檀家、寺の総代
 - ・秋水美術館学芸員
 - ・石川県文化財保存修復協会
 - ・家族、子供
 - ・近くの掛軸など修復する表具店
 - ・専門学校（職藝学院）
- 等

【4-1で⑦必要だが、いないと回答された方】

4-3 どのような理由ですか。(あてはまるもの全てに○)

項目	回答数	割合
協力を得る方法がわからない	3	100.0%
金銭面の問題がある	1	33.3%
ふさわしい人がいない	3	100.0%
協力を求めているが、集まらない	0	0.0%
その他	1	33.3%

N=90



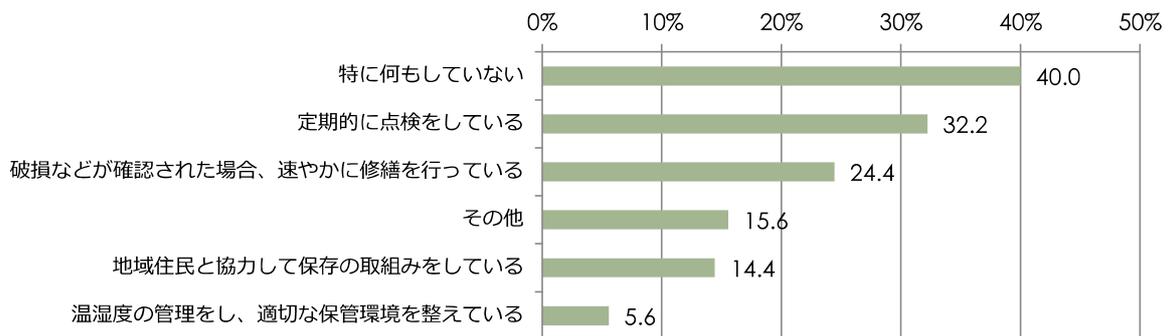
○ 所有している文化財の保存・活用について

5-1 所有する文化財の保存に関する取組みの現状について、お答えください。

(あてはまるもの全てに○)

項目	回答数	割合
定期的に点検をしている	29	32.2%
地域住民と協力して保存の取組みをしている	13	14.4%
破損などが確認された場合、速やかに修繕を行っている	22	24.4%
温湿度の管理をし、適切な保管環境を整えている	5	5.6%
特に何もしていない	36	40.0%
その他	14	15.6%

N=90

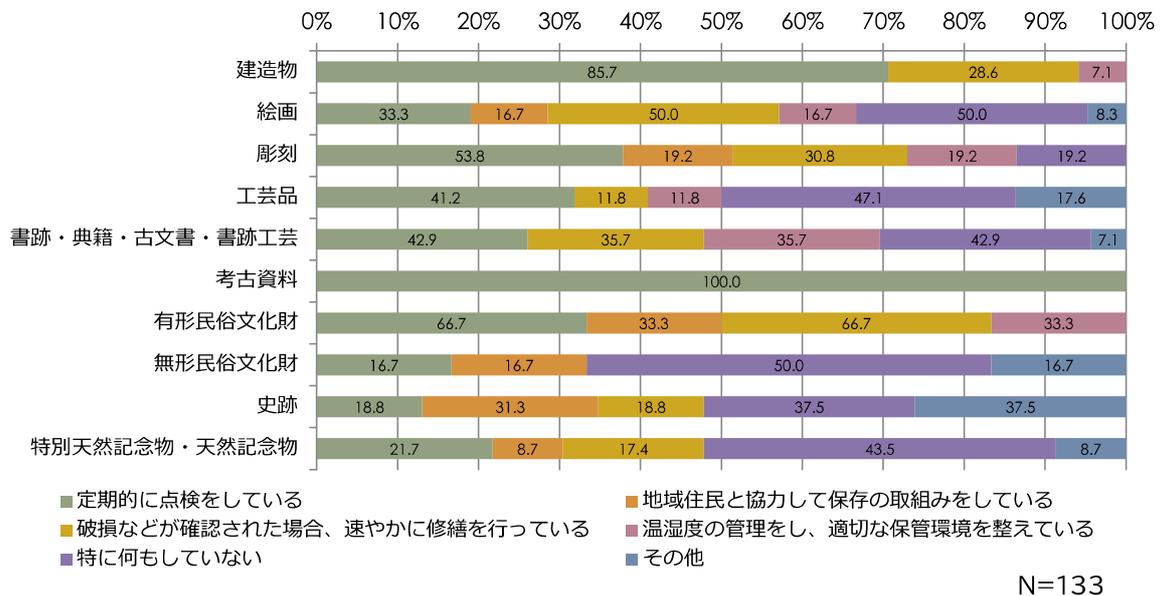


【その他】

- ・手入れができる学芸員に年に1度手入れをしてもらっている。
- ・お参りの時や時々注意して見ている程度。
- ・必要と思われた時に点検などを行っている。
- ・大きくて重いものはやや負担です。
- ・落葉・果実等始末に困っている。
- ・破損などを確認した場合、速やかに修繕を行いたいが、資金面も含めて、個人ではなかなか対応できない。
- ・地元町内会でコスモスを植えるなどして、環境美化に取り組んでいる。
- ・草刈り、倒木処理を行っている。
- ・老朽化のため、再整備事業を実施している。

○属性別の分析

〈文化財種類別の保存に関する取組みの現状〉

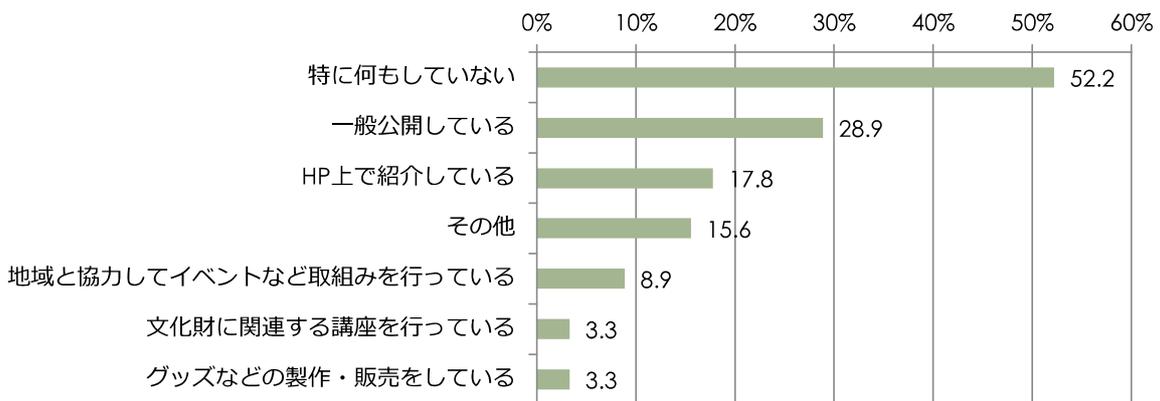


✓ 「特に何もしていない」と回答した方は、「特別天然記念物・天然記念物」、「無形民俗文化財」が多い。

5-2 所有する文化財を現在どのように活用されていますか。(あてはまるもの全てに○)

項目	回答数	割合
一般公開している	26	28.9%
HP上で紹介している	16	17.8%
地域と協力してイベントなど取組みを行っている	8	8.9%
文化財に関連する講座を行っている	3	3.3%
グッズなどの製作・販売をしている	3	3.3%
特に何もしていない	47	52.2%
その他	14	15.6%

N=90

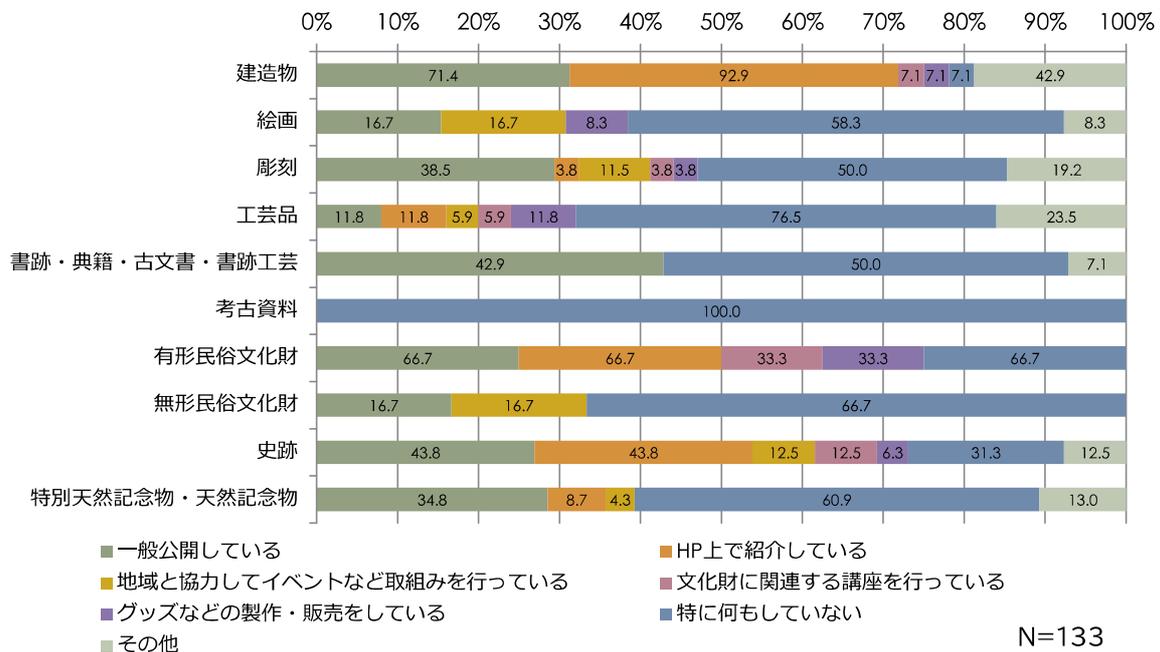


【その他】

- ・部屋の貸出し
- ・看板による紹介
- ・貸出し依頼の際に対応
- ・行事の際に公開、イベント実施
- ・数年に1日のみ公開 / 特別拝観（申込み制） / 御開帳の時のみ公開
- ・博物館で紹介

○属性別の分析

〈文化財種類別の活用状況〉



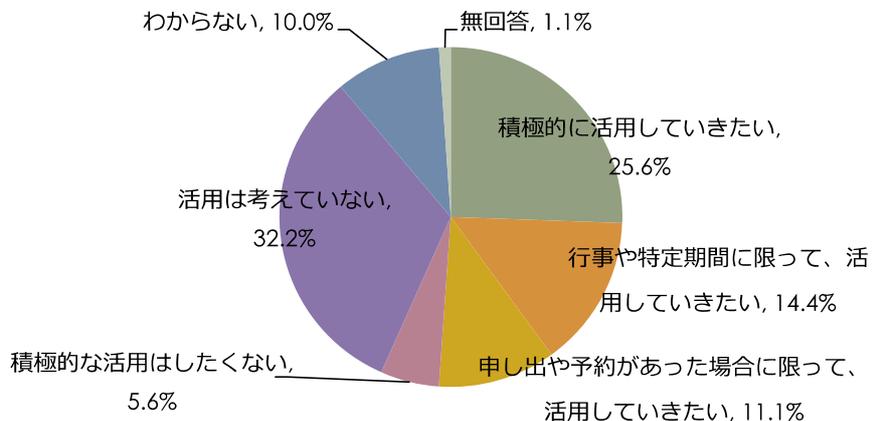
- ✓ 「考古資料」や「工芸品」、「有形民俗文化財」、「無形民俗文化財」、「特別天然記念物・天然記念物」、「絵画」、「彫刻」が活用されていない。

5-3 今後、所有する文化財の活用についてどのようにお考えですか。

(あてはまるもの1つに○)

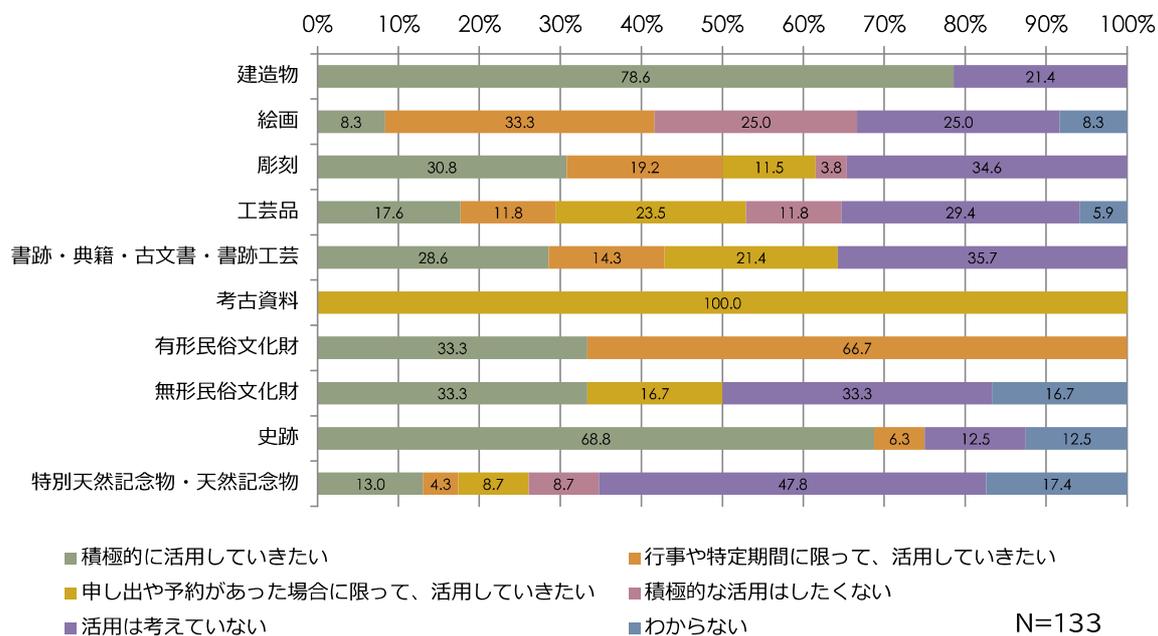
項目	回答数	割合
①積極的に活用していきたい	23	25.6%
②行事や特定期間に限って、活用していきたい	13	14.4%
③申し出や予約があった場合に限って、活用していきたい	10	11.1%
④積極的な活用はしたくない	5	5.6%
⑤活用は考えていない	29	32.2%
⑥わからない	9	10.0%
無回答	1	1.1%

N=90



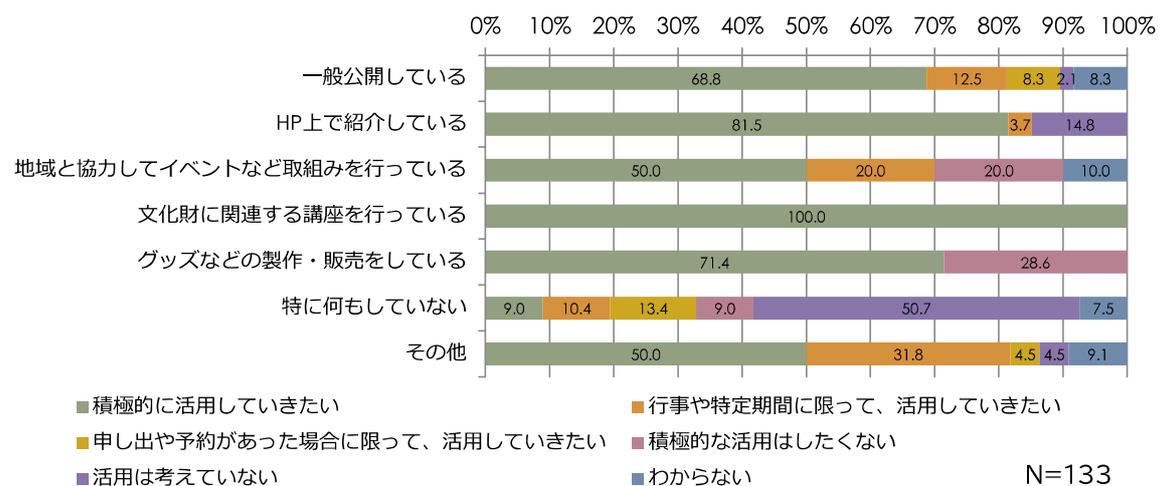
○属性別の分析

〈文化財種類別の活用の意向〉



- ✓ 「積極的に活用していきたい」、「行事や特定期間に限って、活用していきたい」、「申し出や予約があった場合に限り、活用していきたい」と回答された方は、「建造物」、「考古資料」、「有形民俗文化財」、「史跡」が多い。
- ✓ 「積極的な活用はしたくない」、「活用は考えていない」と回答された方は、「絵画」、「彫刻」、「工芸品」、「書跡・典籍・古文書・書跡工芸」、「特別天然記念物・天然記念物」が多い。

〈活用状況と活用の意向〉



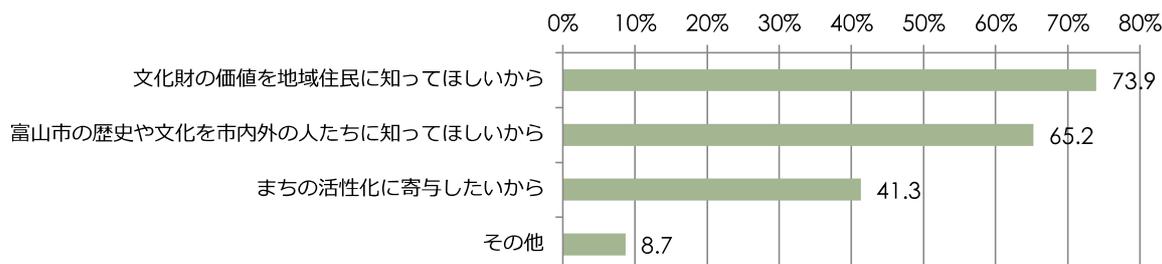
- ✓ 現在の文化財の活用に取り組んでいる方は今後も活用意向がある一方、現在、「特に何もしていない」と回答した方は、今後も「活用を考えていない」状況にある。

【5-3で①～③活用していきたいと回答された方】

5-4 その理由について教えてください。(あてはまるもの全てに○)

項目	回答数	割合
まちの活性化に寄与したいから	19	41.3%
文化財の価値を地域住民に知ってほしいから	34	73.9%
富山市の歴史や文化を市内外の人たちに知ってほしいから	30	65.2%
その他	4	8.7%

N=90

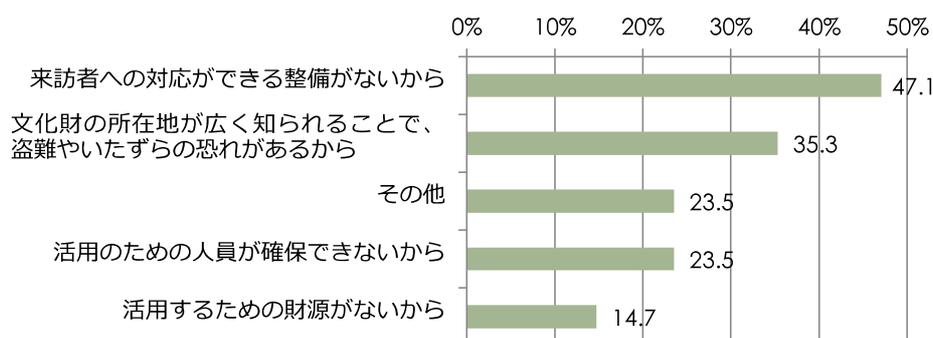


【5-3で④～⑤活用はしたくない、活用は考えていないと回答された方】

5-5 その理由について教えてください。(あてはまるもの全てに○)

項目	回答数	割合
来訪者への対応ができる整備がないから	16	47.1%
活用のための人員が確保できないから	8	23.5%
活用するための財源がないから	5	14.7%
文化財の所在地が広く知られることで、盗難やいたずらの恐れがあるから	12	35.3%
その他	8	23.5%

N=90



【その他】

- ・来訪者全々なし。
- ・文化財を扱える学芸員がないと思うので、一般公開は無理と考えている。
- ・風化などによる倒壊等の人的危険が心配。
- ・管理が主に高齢者。後継者は現在勤務中で忙しく今の所協力する時間がありません。
- ・所在地は豪雪地帯の為、冬期間屋根の積雪を防ぐ為のブルーシート装着の重機工事代、適宜シートを新しくする費用は困惑している。
- ・秘伝である。
- ・自然発生的にできたもの、手をかけずにそっとしておく物と考える。

5-6 所有する文化財を保存・活用していくために、必要だと思うことを教えてください。

【建造物】

- ・更なる防火・防災への対策が必要となるが、その分金銭的・人的負担が大きくなる問題を解決していく必要あり。
- ・収蔵・展示スペースの耐震／免震化、デジタルアーカイブ化（AR／VR活用を含む）、学校教育での利活用、文化財の保存・活用意識の醸成
- ・定期的に点検し、破損などが確認された場合は年次計画を立て速やかに修繕が必要。
- ・メリット向上（維持管理用の減税や補助金など）

【絵画】

- ・地区の共通財なのでできるだけ周知しておきたい
- ・行事がある時に見てもらいたい。
- ・現状をそのまま保存をしたい。
- ・自宅には先祖の残した文化財が多くありますが、季節行事毎に入れ替えるのは一部で、修復するには費用がかかるのが心配です。きちんと整理しなければと思いつつ、日を重ねています。（費用、時間）
- ・保存：防虫、湿気の対策、定期検査（専門員による）
活用：行事のある時に安置していますので、特段活用の必要はない
- ・劣化を防いで貸出す為にレプリカを作成。博物館・美術館等の高度な管理技術を持った施設のみに貸出す規制を制定する
- ・適切な方法で管理してくださるなら、貸与等については今後積極的に検討したい。

【彫刻】

- ・口伝及び文書による保存
- ・①文化財であるのに、地元の小・中学校が何もしない。地域学習の1つとして拝観の機会が創れないのか。
②地域の歴史を知るイベント、講座と企画されたら如何？それぞれの地域で掘り起せるものがあるはず。
- ・貴重な文化財なので、しっかり長期保管できるように正しい保存方法を実践していきたい。
- ・防虫、防カビ、湿度管理等、予算をしっかりとかけて大切に守ることが大切だと考える。
- ・文化的価値有る文化財がこの場所に存在している事を多くの人に知ってほしい。
- ・自治会等の定期的な点検が必要
- ・集落で管理していく
- ・20年に1度の御開扉を保存会だけで催行するのは無理があります。市の協力が必要と思われる。
- ・収蔵・展示スペースの耐震／免震化、デジタルアーカイブ化（AR／VR活用を含む）、学校教育での利活用、文化財の保存・活用意識の醸成
- ・所有者との連携、活用推進
- ・地域住民の関心を高める
- ・文化的価値の説明書きがほしい。

【工芸品】

- ・地区の共通財なのでできるだけ周知しておきたい
- ・所有者との交流を積極的にして頂きたい。活動する事より、他の文化財の発掘や管理、広報の情報が得られる。（八尾町の収納館が長らく閉館しているが非常に気になっている。）
- ・貴重な文化財なので、しっかり長期保管できるように正しい保存方法を実践していきたい。
- ・防虫、防カビ、湿度管理等、予算をしっかりとかけて大切に守ることが大切だと考える。
- ・前の所有者が死亡した折、故人の遺志により、水墨美術館の方へ寄付を申し出たが、富山県には専門の学芸員がいないので遠慮したいと回答された。富山県ゆかりの刀なので売却する気持ちにもなれず、大切に保管しているが、その必要性があるのかどうか迷っている。
- ・自宅には先祖の残した文化財が多くありますが、季節行事毎に入れ替えるのは一部で、修復するには費用がかかるのが心配です。きちんと整理しなければと思いつつ、日を重ねています。（費用、時間）
- ・これからは建築と屋敷地を含めた全体を整備し、歴史公園として、充実させれば良いのではないかと思います。空襲にあい、旧市内に残存する古建築が皆無の富山市にとって、貴重な歴史観光資源となりえるはずですが。例えば富山市郷土博物館の別館として位置付けるのもよいのではないのでしょうか。
- ・収蔵・展示スペースの耐震／免震化、デジタルアーカイブ化（AR／VR活用を含む）、学校教育での利活用、文化財の保存・活用意識の醸成

- ・所有の文化財の簡単なパンフレットが有れば、来訪者に出せるから説明等が少しでも楽になるのでは？

【書跡・典籍・古文書・書跡工芸】

- ・作者がどの時代にどのような活動をされ、この作品を書かれたかがわかるような資料を添えて展示できれば、見る人の感じ方も違ってくると思う。より興味を持って鑑賞してもらえと思う。
- ・何が書いてあるか分からないので、分かりやすくした物を作ってください。
- ・貴重な文化財なので、しっかり長期保管できるように正しい保存方法を実践していきたい。
- ・防虫、防カビ、湿度管理等、予算をしっかりとかけて大切に守ることが大切だと考える。
- ・現在は書棚の引き出しにしまっていますが、これからは、たとえば関所館に保管するとか、公共の場（館）に保管していただきたいと思います。
- ・劣化を防いで貸出す為にレプリカを作成。博物館・美術館等の高度な管理技術を持った施設のみに貸出す規制を制定する

【考古資料】

- ・市外や県外からの資料提供や展示依頼は市からの紹介からであれば応じますので、何かあればまた連絡がございましたら応じたいと思っています。

【有形民俗文化財】

- ・曳山の保存、修理について専門の方からの助言、指導が必要だと思います。
- ・収蔵・展示スペースの耐震／免震化、デジタルアーカイブ化（AR／VR活用を含む）、学校教育での利活用、文化財の保存・活用意識の醸成
- ・不特定多数の方に見て頂く為に、展示会館の建設など

【無形民俗文化財】

- ・地域の負担が多く、高齢化や維持費等の問題から、伝統文化財を後世へ伝承することは、厳しい状況であると感じております。実家から離れて別居する時代の変化があると考えられます。又、新規転入者は、地域の歴史的な文化財に関心が少なく、保存事業への地域負担協力金に関しては、承諾出来ないなどの事例もあるのが現状です。
- ・無形民俗文化財保存維持には、市からの補助金以外の保存・継承に関するご支援もご検討をお願いしたいと思います。
- ・維持管理、修繕の費用と担い手
- ・後継者
- ・山間地域の農業が衰退していることから、祭りは近い将来中止になると思う
- ・本殿、社殿の老朽化が進んでおり、補強もしくは建替を考えなければならない。

【史跡】

- ・家の敷地内に有り管理しているが、石灯籠等がこわれている（いつごろかわからない）
- ・倒壊等の危険対策が必要！
- ・現在は案内板を設置し、周辺整備を行っている。
- ・史跡を単体で活用・周知するのは難しく、総合的な保存活用が求められる。
- ・史跡についての情報を、広く市民に提供することが必要である。
- ・土地を買い戻し、公開活用に向けた整備を行う必要がある。
- ・史跡の本質的価値や地域の歴史を伝え、親しまれる場を提供することが必要である。
- ・土地の所有関係の明確化が必要である。
- ・未買収地の買い上げ、史跡の周知、遺構や展示施設などを整備し、広く公開に資することが必要である。
- ・史跡の本質的価値と地域の歴史を伝え、親しむ場を提供することが必要である。
- ・史跡に至る登山道の整備、草刈り等、休憩場所の設置、周辺の樹木を伐採して、見晴らしのいい場所とする。地元小学校や中学校が遠足等で利用できるようなればよい。

【特別天然記念物・天然記念物】

- ・現在、現地まで行く道路が通行不能なため、道路整備が必要である。
- ・維持管理、修繕の費用と担い手
- ・道路工事するときは傷を付けないようにして欲しい。
- ・富山市のホームページ等に、写真入りで掲載したらよい。周辺の文化財とセットで紹介したらよい。
- ・草刈り、剪定、通路補修等の支援があればありがたい。
- ・草刈等の人に手当をあげたい。

- ・コロナウイルス禍以前には、巨木と名水を巡るツアー等があり、巨木については、倒木・枯木の伐採（市の助成）を行い、整備しており、又名水については、日常的に市内外から水汲みに来ている者がある。（中には定期的に来訪者有り）（四半期毎に市保健所による水質検査実施、今迄問題無）このような状況から今後とも出来る範囲内で、自治振興会等の協力も得ながら保存整備をして行きたい。
- ・棚が破損しているので修復願いたい。
- ・近隣の家の者にとってはジャマという方もあり、根元からいっそ切ってくれたらいいのという声もある。遠くから見分は良いのだろうが…。そんな事を考えたら、保存・活用という事も、あまり積極的に動く気がないというのが現状です。
- ・定期的な大巾な剪定が必要
- ・※財政的援助

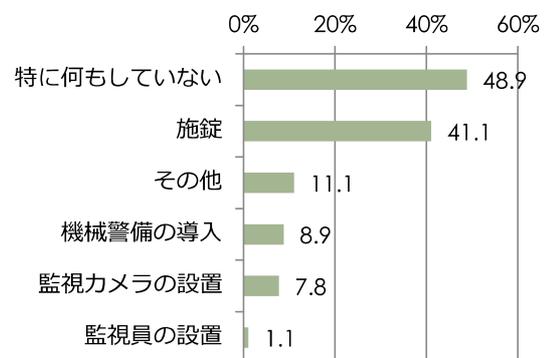
○ 所有している文化財の防犯・防災について

6-1 所有する文化財について、現在どのような防犯対策をしていますか？

（あてはまるもの全てに○）

項目	回答数	割合
施錠	37	41.1%
機械警備の導入	8	8.9%
監視カメラの設置	7	7.8%
監視員の設置	1	1.1%
特に何もしていない	44	48.9%
その他	10	11.1%

N=90

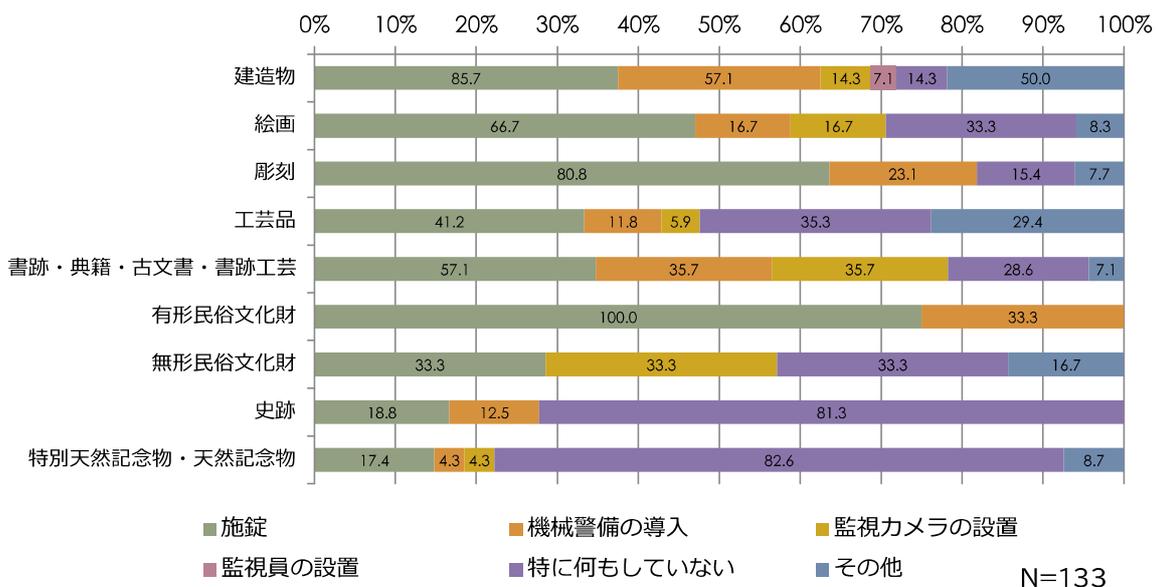


【その他】

- ・出入口にセンサー設置/警報設備
- ・賽銭箱をコンクリート製（重量化）にした
- ・警備システム（在宅・不在いずれの場合も）を入れてある。
- ・額に保管

○属性別の分析

〈文化財種類別の防犯対策〉



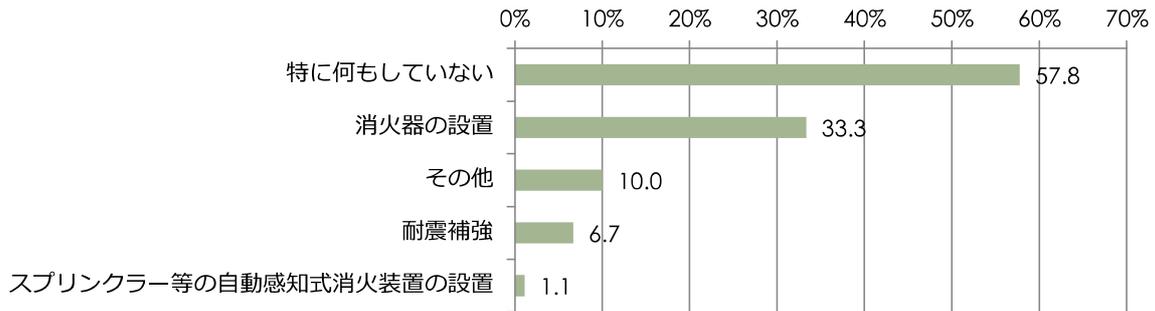
- ✓ 「特に何もしていない」と回答された方は、「史跡」、「特別天然記念物・天然記念物」が多い。

6-2 所有する文化財について、現在どのような防災対策をしていますか？

(あてはまるもの全てに○)

項目	回答数	割合
耐震補強	6	6.7%
スプリンクラー等の自動感知式消火装置の設置	1	1.1%
消火器の設置	30	33.3%
特に何もしていない	52	57.8%
その他	9	10.0%

N=90

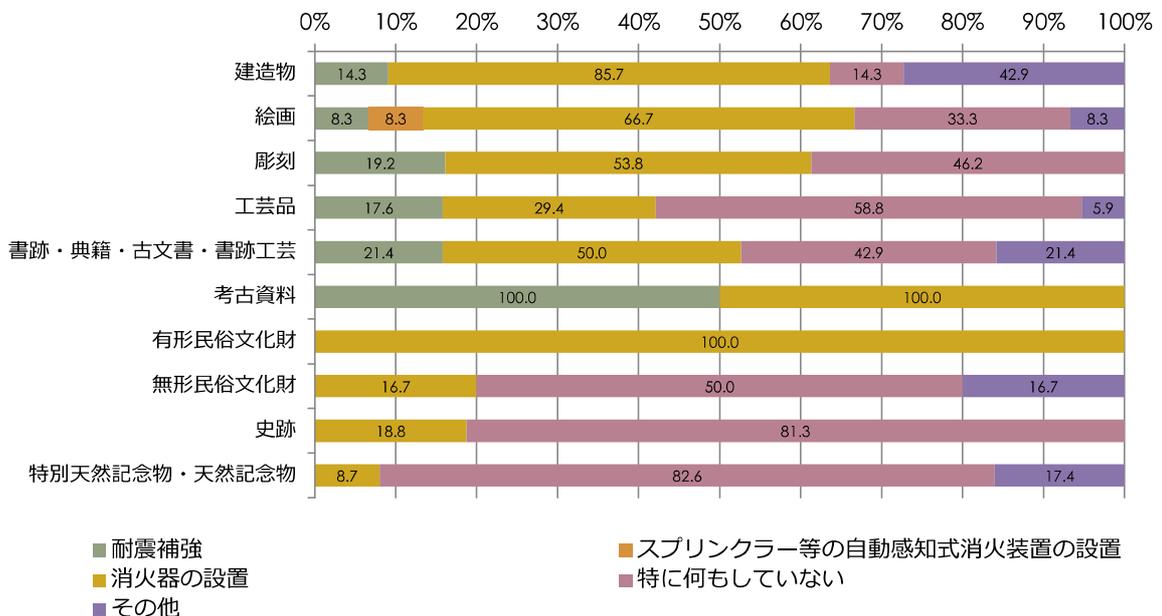


【その他】

- ・自動火災報知機（建造物）
- ・温度・湿度の監視
- ・2階での保存
- ・屋外消火栓の設置
- ・耐雪補強

○属性別の分析

〈文化財種類別の防災対策〉



- ✓ 「特に何もしていない」と回答された方は、「工芸品」、「無形民俗文化財」、「史跡」、「特別天然記念物・天然記念物」が多い。先の文化財種類以外は「消火器の設置」がもっとも多くなっている。

6-3 この度の令和6年能登半島地震において、所有する文化財の被害がありましたら、状況を教えてください。また、現在の防犯・防災面について不安な点がありましたら、ご記入ください。

【被害状況】

- ・不等沈下等により、文化財(建物)に損壊や亀裂等が発生している。
- ・老木の為、枯枝の処理等に問題があり、今回の地震ではひとかかえもある枝が落下した。
- ・石像は倒壊3体、割れ3体、欠け2体、傾き2体、ズレ3体詳細にチェックすればもう少し多いかもしれない。灯ろうは元々風化激しく崩れてしまっていたものも多々あったが、この地震での倒壊など40近くあり。
- ・鳥居の崩壊、碑のづれが生じた。
- ・展示ケース内での移動はあったが、破損等は生じなかった
- ・壁等の亀裂発生・剥落、巾木の沈降発生
- ・施設の内外壁のひび割れ、亀裂、剥離、灯籠の倒壊 等
- ・内壁の一部破損

【現在の防犯・防災面について不安な点】

- ・防犯対策は今以上の事は出来ないと思う。防災対策は費用の問題で出来ないと思う。
- ・消火器設置に対する費用負担をお願い致します。
- ・無事を確認するお電話がほしかったです。
- ・すぐに持ち出せるようにしています。
- ・家が壊れたら終りになる
- ・火災を出さないように気を付けている
- ・文化財の保管場所(資料室や展示ケース)が耐火対応となっていないため火災等による焼失が心配である。
- ・大雪、台風に保強をしておきたい。
- ・注意事項の看板は立てているが、不注意にさわることなどにより人的危険が発生しないか日頃から心配している。
- ・不安な点は支柱、支材等、木材の老朽化の進み具合。
- ・盗難、自然災害対策 - 金銭面
- ・樹木を植えるのは延焼を防ぐ為と聞いているので、文化財自身が一防災対策と理解している。
- ・建物が崩壊した場合における文化財の盗難
- ・建物はゆれに対する対策はしてありますが、防犯は家のカギかけだけなので、ちょっと不安があります。
- ・木が河川にあるため、洪水の時に河川に悪影響がないか心配している。国交省と検討してほしい
- ・壁の亀裂・落ちが目立った。
- ・防犯については敷地が広く、樹木におおわれ、特に、夜間はまっ暗やみで不安である。
- ・防災については、耐震補強はされておらず特に火災の際は消防車が敷地内に入れない為、非常に不安である。
- ・防犯・防災面では高齢の家族なので対応に不安を感じる
- ・地震が発生したり、火災が発生したりした場合、文化財レスキューは基本的に不可能(考慮できない)
- ・防犯・防災面の不安
- ・監視カメラの設置
- ・古美術品がこわれ、せっかくの品物が壊れてしまうので、壊れない箱等があれば良いと思う
- ・耐震性が心配です。

文化財保護事業について

1 生涯学習課（文化財係）所管事務

（1）文化財の調査に関する事務

- ① 文化財調査審議会の運営
 - （ア）審議会の開催
 - （イ）文化財調査

（2）文化財の保存に関する事務

- ① 文化財保護法および県・市条例に基づく事務
指定文化財の滅失届出、現状変更許可申請など
- ② 文化遺産等保存活用推進事業
文化遺産の活用を推進し、まちづくりや文化財継承に資する。
 - （ア）岩瀬地区廻船問屋建造物活用・整備
 - （イ）富山市文化財保存活用地域計画策定事業

② 文化財保護管理事業

文化財等の維持管理を行う。

（ア）建造物

- ・浮田家住宅（国・重文）
- ・旧森家住宅（国・重文）
- ・旧馬場家住宅（国・登録）
- ・千歳御門（市指定）
- ・米田家住宅

（イ）史跡

- ・城生城跡・主馬ヶ城跡・大道城跡・尾畑城跡（市指定）

（ウ）天然記念物

- ・浜黒崎の松並木（県指定）
- ・小井波の水芭蕉（市指定）

（エ）その他

- ・旧水橋郷土史料館

③ 文化財保護支援事業

国、県、市指定文化財の保存・継承事業に対し補助金を交付する。

④ その他

(ア) 特別天然記念物カモシカの保護

(イ) 文化財防火デー

文化財防火デーにあわせて、富山市消防局が、指定文化財等を保有する施設において消防訓練や消防設備点検・防災指導などを行う消防査察を実施する。

(ウ) 国や民間団体が実施する、指定・未指定文化財への補助・助成事業の周知や申請手続き等を行う。

(3) 文化財の普及・活用に関する事務

① 文化遺産等保存活用推進事業（再掲）

文化遺産の活用を推進し、まちづくりや文化財継承に資する。

(ア) 岩瀬地区廻船問屋建造物活用・整備

(イ) 富山市文化財保存活用地域計画策定事業

② 文化財保護管理事業（再掲）

所管文化財施設の一般公開や貸室を行う。（浮田家・森家・馬場家）

③ 文化財保護普及事業

(ア) 旧水橋郷土史料館資料展示事業

市立図書館水橋分館内の「水橋郷土資料展示コーナー」で旧水橋郷土史料館資料を展示。

(イ) 文化財解説板等設置事業

(ウ) 「文化の日」利用促進事業

「文化の日」に博物館施設等への関心と理解を深めてもらうことを目的に、市立博物館施設等の無料開館を実施。その際、八尾曳山展示館、八尾おわら資料館の運営事業者に対し、減免額と同額を補助するもの。

(エ) 「富山市博物館等ガイドマップ」作成

(オ) 市役所出前講座など

③ 博物館等利用促進事業

(ア) 孫とおでかけ支援事業（連携市町村 14、対象施設 60）

祖父母と孫（ひ孫）が一緒に対象施設に訪れた際に、観覧料等を全額減免（無料）するもので、平成 24 年 7 月から実施している。

事業の P R ポスター、チラシを作成し、富山市及び連携市町村の文化施設、教育施設等に配布。ポスター、チラシのデザインは毎年開催される富山市ポスターデザイン選定委員会で大賞を受賞したものを採用。

- (イ) 博物館施設キャッシュレス決済事業
- (ウ) その他、市内博物館等施設との連絡調整

2 埋蔵文化財センター所管事務

(1) 文化財の調査に関する事務

① 埋蔵文化財発掘調査

発掘調査、試掘調査、工事立会、分布調査

(2) 文化財の保存に関する事務

① 文化財保護管理事業

(ア) 北代縄文広場・史跡北代遺跡

- ・維持管理
- ・長岡地区自治振興会に管理運営委託（年間）

(イ) 婦中安田城跡歴史の広場・史跡安田城跡

- ・維持管理
- ・再整備事業

(ウ) 史跡王塚・千坊山遺跡群

- ・維持管理

(3) 文化財の普及・活用に関する事務

① 文化財保護管理事業（再掲）

所管文化財施設を一般公開し、ミニ企画展や講演会、体験学習などを行う。（北代縄文広場、婦中安田城跡歴史の広場）

② 文化財保護普及事業

(ア) 発掘調査現地説明会

(イ) 発掘速報展

(ウ) 市役所出前講座など

(エ) 遺跡 PR 誌『富山市の遺跡物語』作成

富山市文化財保存活用地域計画骨子案

序章（【別添4】序章素案参照）

- 1 策定の背景と目的
- 2 本計画の位置づけ
 - (1) 富山県の関連計画
 - (2) 富山市の上位計画
 - (3) 富山市の関連計画
 - (4) 個別の文化財に関する計画
- 3 計画期間
- 4 本計画の対象となる文化財
- 5 本計画策定の体制と経緯
 - (1) 策定体制
 - (2) 策定までの経緯

第1章 富山市の概要

本市の歴史文化の特性のバックグラウンドとなる情報を記載

- 1 自然的・地理的環境
 - (1) 位置・面積
 - (2) 地勢 ①地形、②地質、③水系
 - (3) 気候
 - (4) 植生
- 2 社会的状況
 - (1) 市域の変遷
 - (2) 人口推移
 - (3) 交通機関
 - (4) 産業
 - (5) 文化財関連施設
- 3 歴史的背景 本市の通史概略を記載

第2章 富山市の文化財の概要

- 1 指定等文化財の概要・特徴（【資料1】参照）
- 2 未指定文化財の概要・特徴
本計画策定事業中の調査結果を反映（【資料5-2】参照）
- 3 関連する制度
日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」

第3章 富山市の歴史文化の特性

- ・第1章・第2章をふまえ、富山市固有の歴史文化の特性を記載（【資料6-1】参照）

第4章 文化財に関する既往の把握調査

- ・これまでに本市内を対象とした国・県・市等が実施した把握調査を整理・記載（【資料5-1】参照）
- ・把握調査が未実施の文化財類型や地区などを記載⇒第6章以降の「課題」となる

第5章 文化財の保存・活用に関する目標（将来像）

- 1 文化財の保存・活用に関する目標（将来像）
本市の状況や歴史文化の特性、アンケートやワークショップの結果を参考とする
- 2 将来像を実現するための方向性
現在の文化財保護事業をもとにした場合…「知る（調査）」「守り・つなぐ（保存・継承）」「いかす・広める（普及活用）」の3つに大きく分けられる

第6～8章（程度） 文化財の保存・活用に関する課題・方針・措置

方向性ごとに章を分け、それぞれ課題・方針・措置を掲載

- 1 方向性実現のための課題
前章で記した将来像を実現する上での課題を、第4章の既往の把握調査の不足箇所やアンケート等の結果などを参考にして記載
- 2 方向性実現のための方針
1で挙げられた課題に対する方針を記載
- 3 方向性実現のための方針措置
2の方針を踏まえ、具体的な措置を記載、実施時期や実施主体なども明記

第9章 関連文化財群

- 1 関連文化財群の設定
- 2 関連文化財群の保存・活用に関する課題・方針
- 3 関連文化財群の保存・活用に関する措置

第10章 文化財の保存・活用の推進体制

- ・文化財担当部局や関係部局、博物館等関係機関の職員・専門的人材の配置状況
- ・富山市文化財調査審議会の構成
- ・民間団体等

別添資料

- ・文化財リスト
- ・文化財所有者アンケート結果等

(2) 現時点の文化財リスト

- ✓ 32の資料を確認し、約5,200件の文化財を抽出しています。
- ✓ 最終的に類型の確認や、重複がないか確認します。

【富山市の未指定文化財の件数】

類型	例示	計
有形文化財	建造物	〇〇氏住宅、諏訪神社本殿、片尾神社鳥居、大法寺山門、月見橋
	絵画	浄瑠璃語り絵馬、明治天皇北麓巡幸絵巻、樓閣山水絵屏風
	彫刻	前田正甫像、壽縁天満宮木像、葉神神農像
	工芸品	佐伯則重の刀、青貝香盆、富山藩の雛人形
	書跡	前田利保書、中田遠馨筆
	典籍	
	書跡工芸	
	古文書	泰壽院の寄進状、佐々成政より新發田因幡守宛文書
	考古資料	新開遺跡出土品、四方北窪遺跡遺物一式
	歴史資料	切支丹禁制の高札、富山藩徴兵示令書
	石造物	石燈籠、地藏、馬頭観世音碑、題目塔、道標
無形文化財	演劇・音楽・工芸技術等	とやまの四季、富山家庭葉の歌
民俗文化財	有形民俗文化財	笹津の神楽獅子、曳山
	無形民俗文化財	東猪谷の獅子舞、曳山囃子、やんざ踊り唄
記念物	遺跡(史跡)	大久保発電所、須坂遺跡、足立塚、宮崎城址、前田家墓
	名勝地(名勝)	松川公園、屋敷林
	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	呉羽町モチノキ林、田尻池(オオハクチョウ飛来)
文化的景観	文化的景観	山田の棚田、立山・黒部の景観
伝統的建造物群	伝統的建造物群	
埋蔵文化財	埋蔵文化財	
文化財の保存技術	文化財の保存技術	
生活文化	生活文化	
史話・伝承・郷土食	史話・伝承・郷土食	ます鮓、報恩講料理、天神信仰
計		

(計画書 第2章 富山市の文化財の概要)

佐倉市の例

[本市の未指定文化財の件数]

類型	計		
有形文化財	建造物	1,471	
	美術	絵画	1,727
		彫刻	20
	工芸品	工芸品	152
		書跡・典籍	57
	古文書	古文書	9
		考古資料	7,399
		歴史資料	907
無形文化財	0		
民俗文化財	有形の民俗文化財	276	
	無形の民俗文化財	158	
記念物	遺跡(史跡)	850	
	名勝地(名勝)	2	
	動物、植物、地質鉱物(天然記念物)	1	
文化的景観	7		
伝統的建造物群	1		
埋蔵文化財	938		
文化財の保存技術	0		
その他(史話・伝承)	405		
計	14,380		

引用元：「佐倉市文化財保存活用地域計画」(令和5年)44ページ

富山の文化財・歴史文化の特徴について ※下記は現在までに把握した文化財および歴史文化の特徴の一部です。今後さらに特徴の抽出・整理を行い、そこから関連文化財群のテーマや構成文化財を設定していきます。

<p>原始・古代～呉羽丘陵の遺跡群～</p>  <p>【国】北代遺跡 【国】王塚・千坊山遺跡群</p>		<p>その他 【県】金草第一古窯跡（須恵器を焼いた7世紀後半の半地下式登り窯） 【市】栃谷南遺跡（白鳳時代～奈良時代の瓦と須恵器を焼いた瓦陶兼業窯） など、呉羽丘陵は県内でも遺跡が最も集中する地域の一つ</p> <p>○文化財関連施設 北代縄文広場、民俗民芸村（考古資料館）、富山県埋蔵文化財センター</p>
<p>中世～戦国武将攻防の地～</p>  <p>【国】安田城跡</p>		<p>その他 【市】中地山城跡及び殿様馬乗石 【市】面白寺跡 【市】城生城跡 【市】主馬ヶ城跡 【市】大道城（若狭城）跡 など 戦国時武将や一向一揆軍が攻防を繰り返したことを示す史跡等文化財</p> <p>○文化財関連施設 婦中安田城跡歴史の広場、郷土博物館</p>
<p>近世～富山藩・加賀藩の町と村～</p>		<p>【国】浮田家住宅 【国登】内山家住宅 【市】黒田家長屋門 【市】千歳御門 【市】竹島家住宅 【市】猪谷関跡 【市】富山藩西猪谷御関所文書 など 藩政時代の町や村の様子が見られる文化財</p> <p>○文化財関連施設 郷土博物館、猪谷関所館、内山邸</p>
<p>近世・近代～商人の活躍と伝統産業の発展(売薬・北前船・蚕種業など)～</p>		<p>【国】富山の売薬用具 【国】旧森家住宅 【国登】旧金岡家住宅 【国登】旧馬場家住宅 【県】西岩瀬諏訪社の大けやき 【県】八尾町祭礼曳山 【市】岩瀬まだら 【市】五百羅漢 【市】蚕養宮 など ○文化財関連施設 民俗民芸村（売薬資料館）、八尾曳山展示館、金岡邸</p>
<p>近現代～近代化とまちの移り変わり～</p>		<p>【国】富岩運河水閘施設（中島閘門） 【国登】桜橋 【国登】笹津橋 【国登】電気ビルディング 牛ヶ首用水発電所群 など ○文化財関連施設 郷土博物館、大山歴史民俗資料館 ※【資料6-2】も参照</p>
<p>信仰・宗教美術 【国】絹本著色法華経曼荼羅図（本法寺） 【国】木造十一面観音立像（常楽寺） など 各地に残る古くからの信仰の歴史</p>		<p>祭り・儀礼 【国】越中の稚児舞 【県】木造獅子頭 【県】八尾町祭礼曳山 【県登】お鋤様 【市】大久保高砂山曳山 など</p> <p>○文化財関連施設 八尾曳山展示館、八尾おわら資料館</p>
<p>自然の恵みがもたらした食文化</p>		<p>【国】ホタルイカ群遊海面 ます寿司 かまぼこ みょうが寿司 など</p>

「暴れ川」常願寺川とともに～治水・活用の歴史～



地理院タイルを加工して作成

近世の治水	①【国】浮田家住宅（江戸）	立山・黒部の山林保護・国境警備を担った加賀藩奥山廻役豪農浮田家の邸宅。浮田家文書（郷土博物館蔵）には、常願寺川の治水に関する史料などがある。
	②【市】正源寺の鳴龍（江戸）・【県】木造聖観世音菩薩立像（鎌倉）	正源寺は天正2年（1574）、氾濫防止の祈願所として建立されたと伝わる。山下守胤作の「鳴龍」は氾濫を事前に知らせるために鳴いたと伝えられる。
	③ 佐々堤・殿様林（江戸頃）	佐々成政が整備したといわれている佐々堤と富山藩主が水防のため植えたといわれる殿様林
安政飛越地震の痕跡と近代治水	④【国】真川の跡津川断層	安政5年（1858）飛越地震の震源となった断層。
	⑤【国】新湯の玉滴石産地	全国的に珍しい「玉滴石」産出地で、安政飛越地震で湧出した熱水の中のシリカが砂粒に付着してきた。市科学博物館と立山カルデラ砂防博物館で展示。
	⑥ 大場・西番の大転石（江戸）	安政飛越地震で起きた立山連峰の鳶山崩れによる土石流で流された巨石。周辺には40数個の転石が残る。
川をいかす／発電	⑦【国】常願寺川砂防施設（昭和初期）	立山カルデラから流出する土砂の調節などを行う砂防施設。本宮堰堤は唯一自由に見学できる。
	⑧【国登】旧県営発電施設（中地山・松ノ木・上滝発電所）（大正）	常願寺川水系の豊富な水量を活用した県営発電施設群。県内初期のコンクリート造り。富山県は戦前水力発電国内一位となっている。
	⑨ 旧県営鉄道駅舎（大正）	発電所建設資材運搬のため県営鉄道が開設された。上堀駅・岩峯寺駅はこのとき建てられたもの。
川をいかす／農業用水	⑩ 有峰ダム（昭和中期）	戦前に着工、戦後に完成した発電用ダム。
	⑪【市】有峰狛犬（室町～）	現在の有峰湖の場所にあった有峰村で、廃村まで神社に置かれていた狛犬。平安時代の様式を伝える。
	⑫ 常西合口用水（明治）	明治時代にできた日本最初の大規模合口用水。世界かんがい施設遺産。明治期造の上滝排砂水門がある。
	⑬ 横江頭首工（昭和中期・平成再整備）	常願寺川から用水路へ取水するための堰。資料展示や施設案内が行われている。
	⑭ 常願寺川合口用水大落差工・両岸分水工・水路橋（昭和中期・平成再整備）	横江頭首工で取水された水を、常願寺川の両岸にある用水に分水する施設。
	⑮ 新庄排砂水門（明治）	用水に流れ込んだ土砂を神通川に流す水門。赤レンガ造り。

富山市文化財保存活用地域計画策定事業スケジュール（令和6年3月現在）

事項		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事前把握	既存報告書調査			資料収集	未指定文化財データ抽出・整理								
	関連計画等調査			計画収集	関連データ抽出・整理								
調査	指定文化財台帳整理・分布図					台帳修正・分布図作成等							
	未指定文化財台帳整理・分布図					台帳・分布図作成等							
	文化財所有者アンケート						アンケート案作成	アンケート送付準備	アンケート実施	集計・分析			
調整・審議会	文化庁		初回協議										現地視察
	文化財調査審議会												意見聴取
協議会	協議会開催等		設置要綱・委員就任					①方針説明					②骨子確認
計画作成	計画本文作成					構成案作成	序章・第1章～2章執筆、課題洗い出し、方針措置・関連文化財群の検討					骨子完成	
説明	HP作成												HP作成・公開
事項		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事前把握	既存報告書追加調査			報告書追加収集、未指定文化財データ抽出・整理									
調査	指定文化財台帳整理・分布図					台帳・分布図修正等							
	未指定文化財台帳整理・分布図					台帳・分布図修正等							
調整・審議会	文化庁				協議			協議					協議
	文化財調査審議会												意見聴取
協議会				③内容確認・方針				④中間報告					⑤中間報告
計画作成	計画本文作成			第3～8章（6～8章は課題・方針部分）執筆・方針措置の検討・関連文化財群の検討									
説明	HP作成			HP作成・公開									
	市民説明・意識調査			ワークショップ実施									
事項		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調査	指定文化財台帳整理・分布図					台帳・分布図修正等							
	未指定文化財台帳整理・分布図					台帳・分布図修正等							
調整・審議会	文化庁				協議			協議					協議
	文化財調査審議会												意見聴取
協議会				⑥内容確認・方針				⑦中間報告					⑧素案確認
計画作成	計画本文作成			第6～10章（6～8章は措置部分）執筆・参考資料調整									
説明	HP作成			HP作成・公開									
事項		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
調整・審議会	関係部局等		教委定例会	議会報告									
	文化財調査審議会		意見聴取										報告
協議会			⑨最終										
計画作成						(案)完成							
計画認定								文化庁修正	申請	認定			
説明	HP作成			HP作成・公開									
	パブコメ等	パブコメ											
情報発信										パンフ・冊子印刷・配布・HP公開			

ワークショップ企画案

■ワークショップの目的

- ①本市は7市町村が合併して誕生し、広域な市域を有することから、文化財を生かしたまちづくりの連携を図ることを目的に、広範囲を対象とした、市民参加のワークショップを開催する。(未指定文化財の発掘、市民の心の拠り所の発掘を含む)
- ②関連文化財群の設定等にかかるワークショップを想定し、地域住民や関係する文化財の保存活用の担い手、庁内他部署と、一体的に方針・措置を検討し、行動につなげていく場づくりを行う。

■令和6年度ワークショップの企画案

神通川・常願寺川流域のストーリー（関連文化財群）を検討するワークショップ

- 神通川流域の歴史文化のストーリー（関連文化財群）を検討するためのワークショップ。
- 常願寺川流域の歴史文化のストーリー（関連文化財群）を検討するためのワークショップ
- ・それぞれの流域、計2箇所各3回のワークショップを想定。
- ・ワークショップの参加者は、流域内の地域住民（地域団体）、関係する文化財の保存活用担い手（保存団体等）、庁内他部署の職員、民間団体（教育・産業・観光等）を想定。

